

研修修了生インタビュー

小田急鶴川店
店長
松浦 一彦さん

研修初日にとんでもない所に来てしまった、と率直に思いました。短期で技術を修得する研修と思い、名古屋に来たつもりが、大きな声出し、基本動作等からスタートし、ビックリしたのがすでに二ヶ月前となりました。

リーダーシップ、自己との向き合い、マネジメント、経営者としてあるべき動きや分析などが凝縮された素晴らしい研修で、たくさんの吸収ができました。

ただ、激励に来て下さった上司の方々に、「楽しい、充実しています」と報告してきましたが、想像を絶する厳しさはありましたし、頭を抱える試練もありました。

「ベンリー事業」という仕事は、パッとイメージできるものではないですよね。

なぜ、会社としてこの事業が必要なのか？というフワツとした疑問があると思います。私も勿論そうでした。

今回、この研修に参加したことで「ベンリー事業」のイメージが明確に

なりました。

素直に「困っている人を助ける」これが「ベンリー事業」でした。

グループにて幅広くサービスを提携している当社ですが、こちらからお客様の所へ出向き、小さなことから生活支援を行うところはなかったと思います。

沿線上に小田急グループが行う地域密着の「ベンリー」店舗があったら、信頼・貢献の幅がさらに広がります。

まずは一店舗目をスタートさせていただけることに大変感謝しております。なくてはならない事業として認めていただけるよう、全力を尽くします。



小田急町田中町店
店長
山崎 創一さん

この研修では私が人生で疎かにしてきたことに日々直面しました。

礼儀の無さ、取り組む姿勢、責任感の無さ、気遣いの無さなど、多くの指導をいただきました。これらはトレーナーからだけではなく、共同生活を送る仲間同士でも行われます。

私の問題改善に仲間が協力してくれたことで、私も仲間のために発言・行動をすることが少しずつ増えていきました。研修終盤には同期全員が、

自分のためよりもチームのために行動することが習慣になったと思います。人のための行動を広げることでベンリー事業の理念である「困っている人を助ける仕事」ができ、当社が運営するベンリー店舗が沿線に広がる

ことで、小田急グループの経営理念である「かけがえのない時間（とき）」と「ゆたかなくらし」の実現に貢献できると考えています。最後に、研修に際して多くのご支援をありがとうございます。

ベンリー事業の成功に全力で取り組みます。



2018年4月10日オープン
ベンリー小田急町田中町店

(東京都町田市)



2018年8月18日オープン
ベンリー小田急鶴川店



研修修了生インタビュー

[詳細はこちら](#)